

令和2年度 公益活動げんき応援事業助成金採択事業一覧

【げんき応援コース】申請件数：21件 採択件数：16件 交付予定合計額：1,561千円

<子どもの居場所 5事業> 交付予定合計額：500千円

No	申請団体	申請事業名	事業概要	事業費 総額	交付 予定額
1	足立活き 活き会	地域のちか からで見守り と町おこし	地域のつながりが少なく人間関係が希薄となっている。行燈まつりでの近隣幼稚園児の絵の展覧、食を通じた交流の場としての親子食堂など、地域の人たちの和を図り交流できる各種イベントを実施する。他団体や関係機関とも連携して交流の場を提供することで地域の繋がりと絆を深め、孤立ゼロと安全・安心なまちづくりに寄与する。	160千円	100千円
2	千住プレ イス	『千住プレ イス』・・・ 子どもの居 場所づくり	区内の不登校児童・生徒は増加傾向にあり、引きこもり等の長期化を防ぐための支援が喫緊の課題となっている。また、子どもの心理・社会的問題にかかわる背景を理解し、地域で支援する体制づくりが求められている。子どもたちが安心して過ごせる人・場所・時間の提供を行う。自由に安心して過ごせる環境を作り、関わることで、信頼できる大人として、継続的に子どもの成長を見守っていく。	112千円	100千円
3	ポルテホ ール連絡 協議会	地域と子供 をつなげる 「ゆるリン ク」	足立区には魅力的な人と豊かな社会資源があるが、地理的な課題や目的の違い等で繋がりきれていないのが課題である。「自分たちの足立区」をテーマに「子ども達にとって本当に必要なことはなにか？」を共に考え、必要なことを必要な時に実行する人を繋げ、実現する場と仕組みづくりを提供し、足立区の安心と安全を共に作っていくため、相談会やイベントを行う。	115千円	100千円
4	NPO 法人 アンドス プーン	子育て情報 インターネット 配信& フリーペ ーパー配布事 業	新型コロナウイルスの影響で外出を控える子育て家庭も増えており、子どもとの過ごし方などでストレスを抱えている方が多い。また、地域の情報をどうやって調べたらいいかわからないなどの声も上がっている。地域の情報や子育てに関する情報を動画サイトやSNSにアップし、各情報サイトにアクセスできるQRコードを掲載したフリーペーパーを配布することで、地域交流のきっかけをつくり、地域の活性化を図る。	100千円	100千円
5		孤立を減ら そう！子育て 世代の居 場所作り	新型コロナウイルスの影響で外出頻度が減り、子どもと一緒に過ごす時間が多くなるなど、環境の変化から心身ともにストレスを抱えながら育児をしている家庭が増えている。このような保護者に向けて、オンラインや様々な居場所を提供し、それぞれに合った居場所を発見するきっかけをつくる。また、多世代間の交流から、地域とのつながりを意識する機会を子育て世代の方に提供する。	161千円	100千円

＜子ども食堂 3事業＞ 交付予定合計額：300千円

No	申請団体	申請事業名	事業概要	事業費 総額	交付 予定額
1	NPO 法人 たんぽぽ 会	子ども食堂 たんぽぽ	子どもの貧困問題を改善するために、子どもを支援する居場所づくりが必要と考える。地域から子どもの孤食をなくしたり、子どもたちが安心して集う場所を提供するため、子ども食堂を開催する。保護者や地域の方にも参加してもらい、親子のふれあい、地域の方とのふれあいを通して地域のコミュニティづくりに寄与する。	222千円	100千円
2	NPO 法人 スマイル・エイジ ングパー トナー	地域食堂 「ちびっこ どんぶりの 日」	地域では、顔の見える関係が薄れ、隣に住んでいる人も知らないこともある現状がある。また、子どもから高齢者が気軽に声かけできる機会も少なくなっている。地域食堂を開催することで、顔の見える関係づくりを推奨することを目的とする。また、子どもから高齢者までが安心して過ごせる居場所を作る。	151千円	100千円
3	One シー ドぽけっ と	食の支援事 業	様々な家庭の状況による「子どもの孤立、食の偏り」が注目されている。また、足立区北西部は子ども食堂の空白地域であり、大人と子どもの交流の場も必要とされている。「食」「子どもの居場所」の提供を通じて、「子ども」と「地域のステークホルダーである町会、学校等」との繋がりを作ることで、自己肯定感を高め、コミュニケーション能力を身につける機会を醸成する。	213千円	100千円

<教育・文化・芸術 2事業> 交付予定合計額：190千円

No	申請団体	申請事業名	事業概要	事業費 総額	交付 予定額
1	しかはま 自然観察 会のらえ もん	2年次 子どもの仲間 づくりと情緒 性・自主性を育 てるー多様な四 季の自然活動を 通してー	子どもたちが学校間の壁を超え、お互いが高めあう仲間として交流できる場が必要である。また保護者は地域の中で交流を深め、子どもの仲間づくりを応援できるようにすることも必要である。自然とかかわりながら、仲間と遊び、助け合うことを通じて、人と人とのつながりの大切さを身に付ける機会にしていく。	100千円	100千円
2	CoderDoj o足立	プログラミング 学習支援事業	令和2年度からの小学校のプログラミング教育必須化に伴う、教育格差の解消が必要である。民間企業のプログラミング教室は平均1～2万円の月額費用が発生する。格差是正のため、無償でプログラミング学習支援を月一回程度、継続して行うことで、一般の有償プログラミング教室に通うことのできない低所得層の子ども達が、学校教育の補てんやより発展した学びの機会を得ることに寄与する。	90千円	90千円

＜その他 6事業＞ 交付予定合計額：571千円

No	申請団体	申請事業名	事業内容	事業費総額	交付予定額
1	Dアードール	思春期・青年期の障がい児育児に関わる情報共有・伝達事業	障がいを持つ子どもを育てる保護者は、乳幼児期の療養施設・センター在園中は様々な情報を入手できるが、就学後は通学する学校からの情報のみとなり、情報の入手先が限られてしまう。専門家の講演会や、福祉作業所等の見学会、保護者間の情報共有の場を作ることにより、広い視野を持って最新の障がい児情報に触れ、保護者同士が情報を共有することで互いに学ぶ場を作る。	91千円	71千円
2	NPO法人エコロジー夢企画	エコ夢探検隊「足立区のトンボを調べよう！」	毎年区内で「プールのヤゴ救出大作戦」を行ってきた。今年度は新型コロナウイルス拡大の影響もありプールのヤゴ救出はできないが、足立区民の親子に6月から10月末までに近所で見かけたトンボを調べて報告してもらい、トンボの実態を知ることにより、足立区の環境を考える一助にする。	135千円	100千円
3	NPO法人スマイル・エイジングパートナー	地域高齢者の介護予防事業「脳の健康教室」	区内で介護予防事業を実施している機関が少なく、地域高齢者が気軽に参加できていない課題がある。スマイル・エイジングパートナーでは介護事業所運営とは別に、現在健康な地域高齢者を対象に「要介護」「要支援」になることを予防することに力を入れた事業を行う。この事業を実施することで、高齢者が住み慣れた地域で、地域交流を楽しみながら暮らせるようにサポートする。	513千円	100千円
4	NPO法人なりわいプロジェクト	ひきこもり予防を目的としたワークショップ～科学とまちづくり思考を学び自己実現意識をはぐくむ～	今の若者は地域や日本の未来を自分ごととして捉えたり、社会貢献する意識が低い。自己肯定感も低く将来展望が見えにくい。子ども達がお米など身近なコンテンツを題材に科学的に学び、社会課題を自分ごととして引きつけることで、広い視点で地域や日本をとらえる姿勢を習得し、足立区や日本の住人として自覚的に未来を思考する意識が持てるようにする。	132千円	100千円
5	NPO法人なりわいプロジェクト	ウィズコロナ・アフターコロナの時代を生きる子供たちの力を育むワークショップ	新型コロナウイルスの感染拡大等により、未来を担う若者たちが未来に向けた希望を持ちにくくなっている。また、「自分が国や社会を変える」ことや「将来の夢」に対して否定的に捉えることが多い。子育て中の保護者が傾聴力を学び、子どもとの信頼関係を強化するとともに自己肯定力を育み学習への意欲が喚起するすべを身につける。若者がレジリエンスを学び、自己受容し自身の力を信じて行動する姿勢、次代の日本を担う力を備える。	153千円	100千円

No	申請団体	申請事業名	事業内容	事業費 総額	交付 予定額
6	NPO 法人 石綿被害者支 援の会	石綿被害者 支援のため の学習相談 事業	足立区はかつて石綿製造加工工場の集積地であった。 また、石綿含有建材の加工切断などに従事した建設従 事者が多数住んでいる。このことから石綿被害者が潜 在的にいると推定される。石綿被害者が労災等の保証 を得られるよう相談会を行い、被害者の支援を行う。	171 千円	100 千円

【ステップアップコース】申請件数：5件 採択件数：4件 交付予定合計額：1,950千円

＜子ども食堂 2事業＞ 交付予定合計額：1,052千円

No	申請団体	申請事業名	事業概要	事業費 総額	交付 予定額
1	社会福祉法人 からしだね	子ども食堂 「じいじハ ウス・ばあ ばキッチン」	家庭の経済状況や保護者の就労等の事情により孤食になる子どもが多い。また、経済格差が子どもの学業に与える影響も大きい。このため、ニーズのある子どもと家族に対して食事と居場所の提供と、経済的理由で学習塾に通えない児童へ無料の学習支援を行う。地域の民生・児童委員とも連携し、子どもと家族の支援のための取組みとネットワークを強化し、子どもへの支援を行っていく。	905千円	452千円
2	一般社団法人 こども食堂 支援協議会	足立区内に おけるこど も食堂を運 営する団体 への支援活 動	足立区内では、様々な事情から十分な食事をとれない子ども達を支援するため、多数の子ども食堂が運営されている。運営費やマンパワーなど、それぞれの子ども食堂が抱える課題を共有し、ともに助け合い団結する場としての協議会を運営し、北足立市場の卸業者に協力していただく青果物の支援や、調理器具、調味料の提供等により、子ども食堂の運営を支援していく。	6,360千円	600千円

＜教育・文化・芸術 2事業＞ 交付予定合計額：898千円

No	申請団体	申請事業名	事業概要	事業費 総額	交付 予定額
1	NPO法人 LILA子ども の学びを支 援する会 (リエゾン・アダチ)	リエゾン・キッズ プロジェクト 2020 2030年の社 会のために 学ぼう！や ってみよう！PART3	自ら学ぶ姿勢と自己肯定感の低下、コミュニティ意識の欠如、貧困やひとり親家庭という発達リスクを負った子ども達の学び・体験の乏しさや問題解決力の育成が課題となっている。継続して開催するシンポジウムにおいて子ども達自らが企画・運営するワークなどを行うことで、自ら考え、学ぶことの楽しさ、仲間と協力することの大切さを知ってもらうきっかけを作る。	631千円	298千円
2	NPO法人 あだち音楽 文化指導者 の会	生演奏で子 どもや大人 の心を豊か にする事業	足立区の子ども達は、五感を使って楽しみ、心が豊かになる「生演奏」に触れる機会が少ない。国や自治体にとって、文化・芸術への優先順位は低く、生演奏を体験できる子ども達は限られてしまっている。足立区の子ども達に「生演奏」に触れる機会を作り、子ども達の心を育て、足立区のすべての人に音楽文化を普及させるため、演奏会を開催する。	1,973千円	600千円